

Sharing Nature News Letter

# ネイチャーゲームの



vol.73  
15 March 2011

本誌はネイチャーゲームの奥底にある“Sharing Nature”（シェアリングネイチャー）をテーマに自然と人のつながりやつき合い方を見つめる情報誌です。



スポーツ振興くじ助成事業

## 特集 いまあらためて ネイチャーゲームが 目指すもの

### ネイチャーゲームの森 73号

ネイチャーゲームは米国のナチュラリスト ジョセフ・コーネル氏により発表された活動です。  
みる・きく・さわる・かくなど、私たちひとり一人が持っている感覚を使って、楽しみながら自然を体験する活動です。

- シェアリングネイチャーを深めよう ..... 5
- くらし時間のネイチャーゲーム〈I Am the Mountain〉 ..... 6
- 達人から学ぶ「より深い下見を目指そう」 ..... 7

- 盛口 満の生きもののおもしろ博物誌「アコガレの生き物」 ..... 7
- 気になる木「サクラの種類」 ..... 8

# Sharing Nature Column

・ 森の手紙 ・  
vol. 12



芽吹き季節

そう聞いて、どんな色を思い浮かべるだろうか。

緑 …… 本当にそうだろうか

萌黄、苔色、若苗、松葉、そして若葉

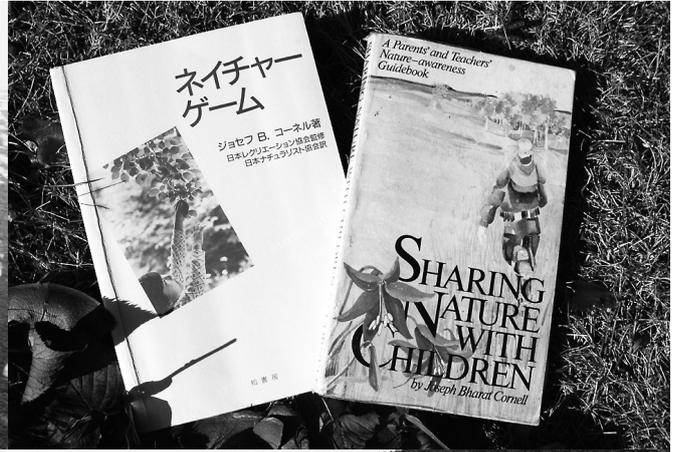
これらはすべて葉の色を表す言葉だ。

あなたはいくつ、色を見つけられるだろうか

—— ネイチャーゲーム（森の色あわせ）

森の中にある

さまざまな色を探します



右上:原書との出会い(1982) 右下:コーネル氏初来日(1986) 左上:各地で広がる地域ネイチャーゲームの会の活動(1990年代/岡山県) 左下:リーダー(初級)養成講座開始当初の様子(1990年代/広島県)

## Special feature - 12

ネイチャーゲーム日本普及25周年

# 対談 いまあらためて ネイチャーゲームが 目指すもの

取材・文/伊東久枝

写真/日本協会

構成/編集部

### 体制一新!! 新執行部と翻訳者の 熱いメッセージ

日本協会は現在、国の公益法人制度改革による公益社団法人への移行を見据え、運営全体を見直し、活動方針や規約の改訂を行っています。

そこでこのたび、2010年度から理事長に就任した服部道夫、改革の中核を担う常務理事小泉紀雄に、団体設立当初からさまざまな形で協力をしていただいている筑波大学大学院准教授の吉田正人氏をお迎えし、対談を行いました。

今号では、この対談のなかから、三者の持つ日本協会の今後への熱いメッセージをお届けしたいと思います。



**吉田正人 (よしだ まさひと)**  
筑波大学大学院人間総合科学研究科准教授  
日本ナチュラリスト協会、東京都高尾ビジターセンター、日本自然保護協会において自然保護教育に携わる。1982年、J・コーネル著『Sharing Nature with Children』と出会い翻訳を担当。現在は大学院で自然保護論、世界遺産論などを教えている。



**小泉紀雄 (こいずみ のりお)**  
日本体育大学大学院教授野方方法(山野)研究室主任  
日本ネイチャーゲーム協会常務理事、指導者養成委員会委員長を務める。社団法人日本キャンプ協会専門委員、財団法人自然保護協会自然観察指導員、日本環境教育学会会員。大学では、野外教育・ネイチャーゲーム・キャンプ活動などを教えている。



**服部道夫 (はっとり みちお)**  
社団法人日本ネイチャーゲーム協会理事長  
1990年以降、理事及び事務局長としてネイチャーゲームの普及に従事。2010年5月理事長に就任。シェアリングネイチャーの理念を具現化するため、キンランの保護活動など身近な自然の保全活動にも取り組んでいる。

## 20代の若者たちの熱意で日本に導入!

服部…早いもので、ネイチャーゲームが日本に導入されてすでに今年で25年です。ここで一度これまでを振り返り、今後の進むべき方向を考えてみたいと思います、今日は常務理事の小泉と日本導入にも大きく係られた吉田さんにお越しいただきました。

吉田…ネイチャーゲームの原書を私に初めて見せてくれたのが服部さんでしたよね。

服部…そう、1982年です。アウトドア雑誌にネイチャーゲームの原書『Sharing Nature with Children』が紹介されていて、そこに書かれていた「自然を分かち合おう」という言葉が心地よく響いて、本を取り寄せたんです。当時私は高尾山ビジターセンターの自然教室でボランティアをしていたので、最初に見せたのがビジターセンターで解説員をしていた吉田さんでした。

吉田…本を見て、知識の押し付けではなく生態系のしくみなどもゲームとして教えていて、すごい!と思いました。それで自分たちでやるために、いくつか翻訳したんですね。やってみたら子どもたちの反応もいので全部訳そうという話になり、日本ナチュラリスト協会のメンバーに声を掛けて訳すことにしました。

服部…当時吉田さんが26歳、私は30歳を越えていましたが(笑)、日本ネイチャーゲーム協会の前理事長の降旗を含め、日本導入に動いたメンバーのほとんどが20代の若者だったんですね。

吉田…メンバーの芳賀啓さんが柏書房にいたので日本語版の出版に動き、86年には『ネイチャーゲーム1』を出版した。このときタイトルが「シェアリングネイチャー」という言葉では一般の人に分かり



ネイチャーゲームで自然とのつながりや一体感を感じることで人の行動を変えていく。シェアリングネイチャーの目指すところは、ネイチャーゲーム体験の“先”にある。

くいからと「ネイチャーゲーム」にしたんです。

服部…本当に若者たちの熱意で始まった活動なんですよ。それから90年に日本協会の前身である『ネイチャーゲーム研究所』が創設され、93年に日本ネイチャーゲーム協会となり、地域の会が全国にでき、2004年までは会員も右肩あがりが増えてきました。ところがその後は、指導者講習を受ける人がちよつと減り、若い人たちが組織に入っていない…。

### 生物多様性保全の普及に ネイチャーゲームの視点は今も新しい

吉田…若い人の環境意識は確実に高まっています。環境保護は特殊な人がするものではなくなりました。参加者の減少は、不況のあおりで自己投資できる余裕のある人が減り、また、ある程度関心のある人が受講してしまっただけということもあるのではないのでしょうか。『生物多様性に関する条約』が採択されたのは92年ですが、「生物多様性」という言葉が一般的に使われるようになったのは2002年ごろ。生物多様性普及の視点で見ても、ネイチャーゲームは、今でも決して古いものではないはずですよ。

小泉…今の若い人は責任ある立場をとりたくない傾向にあるように思います。自分が指導者になって人

を集め、プログラムをやるうという人が少なくなつたのかもしれないね。あと、私の勤める大学はスポーツ専門の大学なのに、木登りをしたことのない子がいる。都会の子は、親が都会育ちだと田舎もなく、親自身が自然のなかで遊んだ経験がないので、遊び方が伝承されていない。

吉田…私の勤める大学でも環境問題を専攻したいという学生の多くが、地球温暖化防止や国際環境情勢の話はするが、自然の中で遊んだ経験はない。頭でっかちなんです。でも、自然との一体感を心の奥で持つていないと本當の行動は起こらない。

小泉…コーネルさんが育った場所は、カリフォルニアの自然豊かな地域で、キツネを追いかけて遊んだり、洪水のあと溺死した動物を見てショックを受けたり…。ネイチャーゲームの根底にある思想は、そのような自然とのやり取りのなかで得たことなんですよ。メデイテーションなどで心を落ち着けることによって自然の中に入っていくことができる。五感を研ぎ澄ますことによって、「内なる心」が豊かになる。自然との一体感を得ると「無」の状態が生まれ、それが真の平和、平等への意識につながる。

服部…コーネルさんにとってネイチャーゲームの活動は平和活動でもあるんですね。平和の本質は自然とともに存在すると考えている。

小泉…世界平和を願って、ネイチャーゲームの活動をしているということは事実ですね。

吉田…コーネルさんのすごいところは、伝えたいと思っている世界を自分で実践しているところですよ。メデイテーションをして心の平穏を見出すことを常にしている。自然との一体感によって得られる心の平穏は、テキストを読んで伝えられるようになるものではない。彼が本當に伝えたいことを知るには

〈シェアリングネイチャーの6原則〉



- 1 いつも受け身でいよう
- 2 教えるよりも体験し、わかちあおう
- 3 深いよろこびの感覚を体験しよう
- 4 理想をめざして実践しよう
- 5 みんなの意識を高めよう
- 6 自然のためだけでなく、自然とともに生きよう

シェアリングネイチャーの理念で心を豊かにする社会を築こう

『ネイチャーゲーム3』を読まないといけないと思います。ネイチャーゲームは形から入るので誰でもできる。けれど形の奥にある本質を理解しないと、ゲームの数だけの活動しかできないのです。小泉…コーネルさんは指導をするときに「感じて欲しい」とよくいいます。ネイチャーゲームには、活動の奥に「深いもの」が存在する。アナンダ村で最初にコーネルさんの指導を受けたとき、私は「こわい！」と感じました。大変な世界に入ったかな、と(笑)。

吉田…今、幸せの指標が変わってきています。経済的には豊かでもなくとも、自然を友としていきたいという価値観を持っている人が増えてきています。経済指標で測れるような豊かさを求めるなら、里山など非効率で価値がありません。しかし里山で、小規模でも命とともに生きる農業をしようという人がいる。「何に幸せを感じるか」ということがこれからの豊かさの指標には非常に大事で、『ネイチャーゲーム3』

にはそのヒントがあると思います。小泉…今は「人間の欲望」の反動として自然を痛めつけている。自然とともに生きるならば、もつと感性豊かな人間教育をしていかなければなりません。そして、心を豊かにするために、自然との触れ合い、仲間と共に生きる喜びといった「知性と感性」を教育していく必要があります。

服部…これまでの25年は活動の普及を第一に考えた時期でした。もちろんこれからは普及は大切ですが、「シェアリングネイチャー理念の実践」を一步深める時期に入ったのではないかと考えています。

吉田…今後日本人は、貨幣経済では測れない豊かさをつくっていかねばなりません。ヨーロッパは時間を掛けて物質的な豊かさを獲得していったので、都市のそばにも公園や池が残り、生活文化も受け継がれています。しかし日本は急激に豊かになったため、家族のつながりや地域の相互扶助の文化も吹き飛ばしてしまっただけです。お金では測れない心の豊かさを取り戻すために、シェアリングネイチャーの考え方、ネイチャーゲームの活動は役に立つと思います。

服部…先行きが見通せない時代だからこそシェアリングネイチャーの考え方は、個人の生き方に、よりよい社会をつくるために、役立つと思うんです。そして『シェアリングネイチャーの6原則』は自分が理解できたところから実践できるので、日常生活にも取り入れやすいと思います。

吉田…経済成長の次に来る時代は人と人との関係を再構築するのが大きなテーマだと思います。そこにもシェアリングネイチャーの理念は利用できます。

服部…本日は大変有意義なお話をお聞きすることができ、今後の日本協会の活動の方向が見えたような気がします。ありがとうございました。

ネイチャーゲーム 日本での普及の歴史

2011	2007	2004	2003	1997	1995	1994	1993	1992	1988	1986	1982
日本での普及25周年を迎える 6月コーネル氏来日予定	日本での普及20周年記念事業実施 『シェアリングネイチャーの6原則』の発表 シェアリングネイチャーの 思想を明記	47都道府県に協会(連絡会・設立準備会)設置 会員一万人を超える 指導員制度の大幅改定	リーダー・コーディネーター・ インストラクター・トレーナー	社会的認知を得て、 補助金事業等開始	上級指導員養成講座スタート 社団法人日本ネイチャーゲーム協会設立	各地で地域ネイチャーゲームの会活動開始 社団法人化を目指して募金活動開始	任意団体日本ネイチャーゲーム協会設立	初級指導員養成講座スタート 全国一斉「親子で楽しむネイチャーゲーム大会」開始 中級指導員養成講座スタート	ネイチャーゲーム連続ワークショップ開催 ネイチャーゲーム研究所設立	『ネイチャーゲーム1』(発行:柏書房)出版 コーネル氏初来日 シンポジウム& ワークショップ実施	原書との出会い 日本ナチュラリスト協会の 若手によって翻訳

※コーネル氏を招いての25周年行事の詳細については日本協会HPをご覧ください



# くらし時間の ネイチャーゲーム

I Am the Mountain  
(アイ・アム・ザ・マウンテン)

「I Am the Mountain」は、ネイチャーゲーム創始者のジョセフ・コーネル氏が実践している新しい活動です。コーネル氏が来日した際に度々、この活動を日本の仲間たちに教えてくれました。

## ひとりで行うやり方

静かに、「私は (I Am)」という言葉を探り返しましょう。「私は」を言うたびに、自然の中であなたの心を捉える何かを探します。(空に浮かぶ雲だったり、森の中で音楽を奏でる風だったり)そして、それが何であれ、その生きた現実をあなたの心の中に感じてみましょう。しばしの間、それを楽しんだら、あなたが眺めていたものを表すシンプルな言葉をささやいてみましょう。例えば「私は……漂う雲」「私は……波打つ枝」「私は……湖を吹き抜ける風の爽快さ」というふうに。

5分程度これを繰り返したらリラックスし、あなたの中の、そしてあなたを取り巻く自然の静寂を楽しみましょう。目に映るすべてのものと交わる感覚を感じてください。



## 友人とわかちあうやり方

ひとりが促し役になり、もうひとりは受け手になります。促し役は、受け手の視界を遮らないようにやや後方に座りましょう。促し役が「I Am (私は)」と言葉を繰り返すことによって、受け手は「今」に集中することができ、今この瞬間に没頭することができます。友人と共にこの活動を行うことは、自然との交わり、友人との交わりを共有する感覚を作り上げてくれます。必要に応じて役割を変えてください。



私は、趣味で全国各地の一の宮(その土地のナンバーワンの神社)を巡っています。霧囲気のない森や山があるところでは、座ったり横になったりすると、肩の力が抜け、楽になってゆきます。

そういう時、1本の木が目に入ったとします。呼吸を整え、木に意識が惹かれていくと、「私は木だ」と感じる時があります。そのまま自分が木になった気持ちでいると、枝先や葉っぱに意識が移ります。すると「私は枝だ」と思うのです。枝になった気分は楽しく、葉を茂らせ、陽が照れば葉の栄養を受け取り、風が吹けばリズムを取って揺られています。不意に私は「風」になります。風になって山の上を駆け上がり、町や村に降りてゆきます。その繰り返しのな

か、意識は「私は雲、自由自在に動く」と感じます。私は雲になって、雨を降らせ、地面にしみ通り、根から樹木に入り込むのです。

そのように、次々と「私」は姿を変え、集中がとぎれたところで、あるいは続かなくなったところでおしまい。立ってその木にあいさつし、次の地へ移動します。

このアクティビティは「I am the mountain」です。20周年清里大会でジョセフ・コーネルさんに教わりました。私は1人でもできるネイチャーゲームが好きで、しかも道具がいらないので、ときどきやっています。仕事帰りや空いた時間に、職場のクスノキを見上げたり、芝生を見つめたり。調子のいい日は次々と自分が何かに変わっ

ていきます。

また、朝起きて1日の始めに「I am the mountain」を行なうこともあります。体を伸ばしベランダに座ると、前方に徳島市のシンボル、眉山が見えます。「何が見える? 山」「何が聞こえる? カラスの鳴き声」「何を感じる? 肌に当たる風の涼しさ」というように、感覚をとぎすます方法もあります。私の集中力は5分程度。集中力が保てなくなれば、あっさり切り上げるのもコツです。

「暮らしのなかにネイチャーゲームを」と思っていれば、仕事や家事の合間にできることもあります。

(村上宣輝/徳島県)

# 達人

から学ぶ

## 【その十二】

ネイチャーゲームトレーナー  
箱崎明美さんの巻



はこざき あけみ

ネイチャーゲームと出会ってから、空をよく見るようになったなあ〜、と思います。刻々と移りゆく空を見ていると、それだけで幸せな気分になります。自然のなかで「のんびり」「ゆったり」が大好きです。

募集中

このコーナーでは、全国の「達人」情報やリクエストを募集しています。ある分野でのネイチャーゲームの達人、熟練指導員の達人技、あの人の技を聞いてみたい...どしどし応募ください。  
mizushina@naturegame.or.jp



プログラムを計画する前に行なう下見。「完璧な下見」ではなく、「深い下見」を目指すとは、どのようなことなのでしょう？ トレーナーの箱崎さんからのメッセージです。

今回は、「完璧な下見」というよりは「より深い下見」を目指して、次の4つの視点から下見を見直してみることになりました。

### 1. フィールドの魅力を感じよう

「今日はどんなアクティビティでプログラムを構成しようか」と考える時、まずそのフィールドの魅力を感じましょう。下見のスタートはここから始まります。そして、「その魅力をどうやったら伝えられるか」と考えると、フローラーニングに沿ったプログラムの立案につながります。

### 2. KYT (危険予知トレーニング) に取り組もう

楽しい活動も、ケガや事故を起こしては台なしです。下見では考えられる危険を見つけ、それを回避することを考えましょう。

#### ○地形的条件は大丈夫ですか？

足場の悪い所はないだろうか？ 一見大丈夫そうでも、目隠しをする活動になると危険度が高くなる場合もあります。

#### ○危険な動植物はいませんか？

リーダー養成講座のなかでも、危険な生きものについての話を聞きますが、フィールドのなかにそのような生きものはいないか、実際に活動する時間帯に確認したいですね。動物によっては、早朝はあまり活動しないが、陽が昇るにつれて活発になるという場合もあります。もちろん、その逆の場合も考えられます。

○時間帯による自然条件の変化に伴う危険はありませんか？

例えば、活動前の時間帯は大丈夫だったのに、活動時間帯に太陽がガンガン照りつける状態になった経験はありませんか？ これも実際に活動する時間帯に確認しましょう。

### 3. 参加者の気持ちになってプログラムをトレースしてみよう

プログラムの立案や危険回避などの安全面の下見が終わったら、参加者の目線になってフィールドでのプログラムを疑似体験してみましよう。こうして、指導する側からされる側へと視点を変えることによって、下見の完成度は高くなります。

### 4. フィールドの自然のなかにひたろう

フィールドの魅力を感じることから始まった下見の仕上げには、自然案内人としてその場の自然の美しさにひたりましよう。主役はその場の自然。リーダーは、その自然の魅力を伝えるフィールドだ、と私は考えます。私は自然案内人として、太陽の光を通す一片の透明なガラスでありたいと思います。透明な意志として自然のなかに身を置いて、心を落ち着かせる時間を持ちましよう。私は、下見の仕上げに行なうこの時間が大好きです。

琉球島の生きもの

生きもののおもちゃ博物館

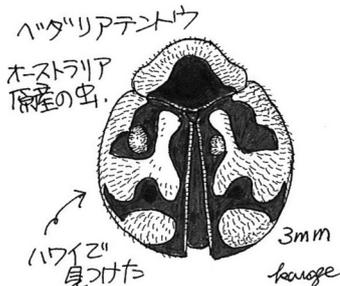
アコガレの生き物 No. 16

関西空港から国際線に乗って七時間。さらに国内線に乗り換えて、アコガレの地、ハワイ島に降りた。

太平洋のまん中に浮かぶハワイ諸島は、その生物相の固有率の高さで知られる。じつに動植物の九十%が、世界の中でもハワイにしかない生き物たちなのだ。この数値は有名なガラパゴス諸島をしのぐ値なのだ。ただし：：と言う必要がある。これはもともとハワイにすんでいた生き物に関しての値である。キャブテン・クックの到来にはじまる欧米社会との交流後、ハワイにはドトウのごとく、外来種が持ち込まれることになる：：このことは、「知っている」つもりでハワイに出かけた。

実際にハワイ島に行ってみてびっくり。アコガレのハワイ固有の生き物はどこへやら。上を見ても下を見ても、木から花から虫に至るまで、みんな外来種なのだ。ハワイ島でよく見かけた虫にテントウムシがいたが、そもそもハワイ諸島にはテントウムシの仲間は一切もいなかったのだから、高い運賃を払って、外来種見学かどげんなりしてしまつた。でも、そんなハワイの現実こそ、伝えていかなければという新たな思いが湧いてきた。また行かねば。

もりぐちみつる



沖縄在住のフリーライター。リーススクール講師や大学准教授の顔をもつ。著・編書「田んぼの恵み 八重山のくらし」(ポーターインク/2010)「ゲッチョ先生の野菜探検記」(未魂社/2009)。昨年実施された全国研究大会in沖縄の講師を務めファン急増中！

# イベント REPORT

## アクティビティセミナー

2011.1/8~10 (神奈川県)  
小川 郁 (新潟県)

太陽の陽射しがありがたい南足柄へ、3日間のセミナーに参加してきました。セミナーは、4人の講師を中心に進められました。玉手箱を開けるように次々とゲームの勘どころを披露してくれたキタさん。カワウソのように元気できれいなフジコさん。静かで美しい時間を操るモヤさん。小技の効いたエンターテイナーの山口さん。

こんな魅力的な講師の方だけでなく、参加者の方々もみなネイチャーゲーム経験豊富なツワモノばかり。素敵な時間を分かちあうだけでなく、実践時のコツをたくさん教えていただくことができました。

偶然にも最終日の1月10日は、私の〇回目の誕生日。たくさんプレゼントで

Reported by  
◇ おがわ かおる  
◇ うちだ ちえ

長岡市東山で活動しています。研修であった「結び」の文化を活動に採り入れようとして現在特訓中です。神奈川県横須賀市・葉山町・逗子市を中心に、主に乳幼児親子対象にネイチャーゲーム活動をしている。

幸せいっぱい誕生日となりました。私もらったタカラモノ

- ☆落ち葉のささやき&七面相
- ☆闇夜にカモフラージュする怪しい人
- ☆しずくでのぞいた不思議な世界
- ☆枝の先 キラキラ光るまあるい氷
- ☆みなさんと出会えたこと

ほかにもいっぱいあります。たくさん体験、本当にありがとうございました。



「野外実習の様子」

## 農と食卓をつなぐ 「国府津ミカン畑ネイチャーゲーム」

2011.1/30 (神奈川県)  
内田 千栄 (神奈川県)

空気の澄んだ冬晴れの日、ミカンが大好きな四歳の娘と参加しました。ミカンの葉を一枚ずつもらい、葉の匂いを感じ、その感触を楽しみながら、フィール

ドのミカン畑に移動するまでミカンクイズ。一面のミカン畑をみながら、「ミカンいくつ」で木にミカンが実っていることを子どもたちも実感しました。ミカン畑から眺める富士山もまた格別です。

探検に行くようなワクワク気分での道を楽しみながら、フィールドのミカン畑に到着です。フィールドのミカン畑は、放置果樹園でまったくの無農薬。そのミカンの木のまわりを歩き、いろいろな角度から観察しました。民家の庭にあるような高い木でなく、低木ばかりであることも改めて発見。そして、枝の入り組んでいるところには鳥の巣もありました。

さて、いよいよミカンを自分たちで収穫。もぎたてミカンを食べるのは初めてです。昔なつかしい味に感動。来年はもっとたわわに実りますように、とみんなの気持ちを込めて、剪定作業をしました。枝が少ない方が美味しい実がつくそうで、かなり枝をすいてよいとのことでした。

最後は、日本協会スタッフが手間ひまかけて愛情をたっぷり込めて、ミカンの葉からつくったミカン茶の試飲です。ミカンのよい香りでお腹も心も温まりました。

娘は、「来年はもっといっぱい食べようね」と、今から楽しみにしています。



「ミカンの木をじっくり見ました！」

## Q いよいよサクラのシーズンですが、日本には何種類くらいのサクラがあるのですか？



いにしへの 奈良の都の八重桜  
けふ九重に にほひぬるかな  
(伊勢大輔/百人一首より)

日本に野生するサクラは、沖縄の「カンヒザクラ」を含めて10種類です。その代表格の「オオシマザクラ」は白い花と葉が同時に開き、花に芳香があります。「ヤマザクラ」はピンクの花と葉が同時に開き、江戸時代までは花見の主役でした。「エドヒガン」は葉の開く前に花が咲き、サクラの仲間では最も長生きをします。わが国では室町時代から江戸時代にかけて、こうした自生種を掛け合わせて品種を開発する技術が発達していきました。八重咲きのもの、黄緑色の花を咲かせるものなど、園芸種を含めるとサクラは300種類以上にも及びます。なかでも江戸時代末期にオオシマザクラとエドヒガンを掛け合わせて生み出された「ソメイヨシノ」は、花ぶりがよく、開葉前に花が一斉に咲くというそれぞれの性質を受け継いだために人気を呼び、今では日本を象徴するサクラとなりました。

なぜ？  
なに？  
どうして？

## 気になる木



森林インストラクター  
東京会副会長  
小菅智彦さん

## ◆ 各種助成金活用状況の報告

日本協会では、2010年度に下記の助成金を活用して全国のネイチャーゲーム組織や会員の皆さまの協力をいただきながら各種事業に取り組みました。

### ●報告1 日本財団助成事業

- ・「農業における生産者と消費者をつなぐ体験プログラム」開発事業 30会場予定

### ●報告2 スポーツ振興くじ助成事業

- ・地域ネイチャーゲーム教室 50会場予定
- ・地域ネイチャーゲームセミナー 50会場予定
- ・広報ツール（広報誌・ウェブページ）の作成

### ●報告3 子どもゆめ基金助成活動（子どもの体験活動）

- ・自然のだいすきだいじさがしプロジェクト 65会場予定

### ●報告4 子どもゆめ基金助成活動（子ども向け教材開発・普及活動）

- ・デジタル教材「五感で楽しむ自然ふれあいプログラム」の作成

## 日本協会理事会・総会の報告

平成22年度第3回理事会および第27回総会が2月に開催され、以下の議案が承認されました。

### ●平成22年度補正予算

収入の部（単位：千円） 支出の部（単位：千円）

1) 事業活動収支の部			
基本財産運用収入	10	事業費	100,686
会費	37,931	事務費	31,161
事業費	55,920		
助成金	37,974		
雑収入	12		
事業活動収入計	131,847	事業活動支出計	131,847
事業活動収支差額	0		

2) 投資活動収支の部			
特別積立金取崩収入	7,200	特別積立金預入支出	7,200
敷金戻収入	2,400	敷金支出	619
投資活動収入計	9,600	投資活動支出計	7,819
投資活動収支差額	1,781		

3) 財務活動収支の部			
財務活動収入計	0	財務活動支出	0
財務活動収支差額	0		
当期収支差額	1,781		
前期繰越収支差額	7,568		
次期繰越収支差額	9,349		

### ●平成23年度収支予算（公益法人会計基準適用）

収入の部（単位：千円） 支出の部（単位：千円）

I 一般正味財産増減の部 1) 経常増減の部			
基本財産運用収入	5	事業費	72,647
入会金	622	事務費	33,214
会費	36,140		
事業費	52,066		
助成金	17,059		
雑収入	10		
経常収益計	105,902	経常費用計	105,861
当期経常増減額	41		

2) 経常外増減の部			
経常外収益計	0	経常外費用計	0
当期経常外増減額	0		
当期一般財産正味増減額	41		
一般正味財産期首残高	43,603		
一般正味財産期末残高	43,644		

II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		

III 正味財産期末残高	43,644		0
--------------	--------	--	---



その他の議案

- ・就業規則の改訂
- ・役員規程の制定
- ・旅費支給規程の制定
- ・費用弁償規程の制定
- ・平成23年度スポーツ振興くじ助成申請
- ・平成23年度事業計画
- ・事務局業務規程の制定
- ・教材販売の実施
- ・各種専門委員会の整理
- ・地域ネイチャーゲームの会の設立解散
- 設立 わたらせネイチャーゲームの会（群馬県）
- 解散 アセビの森ネイチャーゲームの会（熊本県）
- これにより地域の会は231会となります。

## 実践事例・研究報告募集

ネイチャーゲームの可能性をよりいっそう広げ、深めていくことを目指し、2010年度より分野の整理、応募方法と様式の統一等を行ないました。

### ○新しい分野

- 分野1. 地域実践
- 分野2. 講師活動
- 分野3. コーディネーター活動
- 分野4. 学校教育における活動
- 分野5. 幼児教育・保育における活動

詳細はホームページにてご確認ください。過去の事例・研究はホームページにて公開中です。どなたでもご覧いただけます。

### ○応募締切り：2011年3月31日

○応募方法：専用様式にてメールでご応募ください。

○送付先：日本協会 事例・研究係  
jirei@naturegame.or.jp



## ネイチャーゲーム奨励賞募集

日本協会では毎年、ネイチャーゲームに関するすぐれた実践や研究を奨励しています。自薦、他薦は問いません。ぜひ積極的にご応募ください。

- ・指導者養成部門（個人での実践活動・研究活動）
- ・普及部門（組織での実践活動・研究活動）

### ○応募締切り：2011年3月31日

○応募方法：指導員ハンドブック理論編（第6.2版）P.155、またはホームページを参照してください。

○送付先：日本協会 奨励賞係  
shoreisho@naturegame.or.jp

## 専門委員会開催報告

### ●指導者養成委員会

2011年1月26日(水)

- ・2011年度指導者養成事業の確認
- （14時間ネイチャーゲームリーダー養成講座／フォローアップセミナー／自主企画セミナー／コーディネーター養成研修講座等）
- ・全国研究大会のプログラムとコーネル氏の来日スケジュールの確認

### ●運営改善委員会

2011年1月26日(水)

- ・専門委員会の整理
- ・各種規則規程の確認
- ・事業説明会の内容の打ち合わせ

### ●アクティビティ開発認定委員会

2011年1月18日(火)

- ・新ネイチャーゲーム第3次審査終了
- 2011年自然案内人及び日本協会ホームページにて新ネイチャーゲーム発表

## 【お詫びと訂正】

「ネイチャーゲームの森 vol.72」に誤りがありました。関係者の皆様に心よりお詫び申し上げます。以下訂正箇所です。

(P2 7行目) および (P3 3段目 7行目) 誤) 中部よこはまネイチャーゲームの会 正) かながわ自然塾たね育舎 (神奈川県ネイチャーゲーム協会所属メンバーの有志により組織された集まり)

## ネイチャーゲームを体験しよう！

- ❖体験イベントは全国各地で参加できます
- ❖公認講師を呼んで体験会や研修会が開催できます
- ❖リーダー養成講座ではより深い体験ができます

リーダー養成講座 ▶

ネイチャーゲームに関する情報はwebで  
<http://www.naturegame.or.jp/>



# 読者プレゼント



3種類のアナンダカード！

**1 アナンダ村・メッセージカード**  
3枚1セット 1名様  
ネイチャーゲームの創始者ジョセフ・コーネル氏が住むアナンダ村のメッセージカード。シェアリングネイチャーの気持ちを込めて、大切な方へ贈りたい1枚。  
(提供：日本協会)



エコ文具はじめよう。

**2 アニマルえんぴつセット**  
2種類1セット 1名様  
シマウマ柄はeco文具ブランドO'BONO、ホッキョクグマ柄は株式会社鉛筆の商品にWWF（世界自然保護基金）が監修として関わり、廃材を使って作られたもの。木材のご環境のことを考えるきっかけを、エコ文具から！  
(提供：ネイチャーゲーム研究所)



写真付きでわかりやすい！

**3 哺乳類のフィールドサイン観察ガイド**  
¥1,890 3名様  
主に身近なフィールドで観察できる34種類の野生動物にスポットをあて、さまざまなフィールドサインを紹介しています。フィールドサインの読み取り方や持ち主にたどりつく方法がわかる1冊。  
(提供：文一総合出版)

表紙の写真・モンシロチョウ、モンキチョウと菜の花

Sharing Nature News Letter  
**ネイチャーゲームの森 第73号**  
発行日 2011年3月15日  
発行人 服部道夫  
発行所 社団法人日本ネイチャーゲーム協会  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-13-17 ワークスナカノ2F  
TEL 03-5363-6010  
FAX 03-5363-6013  
http://www.naturegame.or.jp  
jimukyoku@naturegame.or.jp

編集 佐々木香織・水信亜衣  
デザイン 橋本陽子(ビー・ビー・エフ)  
田崎恭子(リクパ)  
イラスト 安藤美紀子(P.6・8)  
DTP 第一資料印刷(株)  
表紙 i-works (イメージナビ)

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断掲載を禁じます。

この情報誌はスポーツ振興くじ助成金を受けて作成しています。



# 読者アンケート

本誌がさらに魅力的な情報誌になるように、読者の皆さまの声を聞かせ下さい！ アンケートに答えていただいた方の中から抽選でステキなプレゼントをさし上げます。プレゼント当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

読者プレゼント締め切り ▶▶▶ 4月15日

●あなたのお名前 ●会員ID. (または、ご住所/電話番号)

●あなたはネイチャーゲームの会員になって何年たちますか？

1年未満 1~3年 ~5年 ~10年 10年以上 ( 年)

●本誌『ネイチャーゲームの森』についてご評価ください。また、その理由を聞かせてください。

A. 大変参考になる B. 参考になる C. 普通 D. 参考にならない  
理由 ( )

●今号の中で良かったコーナーに◎、普通だったコーナーに○、いまひとつだったコーナーに△をつけてください。

Sharing Nature Column ..... ( ) 盛口満の生きものおもしろ博物誌 ..... ( )  
特集『ネイチャーゲームが目指すもの』..... ( ) イベントレポート ..... ( )  
シェアリングネイチャーを深めよう ..... ( ) 気になる木 ..... ( )  
くらし時間のネイチャーゲーム ..... ( ) NGニュース ..... ( )  
ネイチャーゲームの達人から学ぶ ..... ( ) 読者のひろば ..... ( )

●本誌で取り上げてほしい特集やコーナーがあればお書きください。

●プレゼント希望 (ご希望に添えない場合もあります。ご了承ください)

① ② ③ どれでもOK プレゼント不要



FAX返信 **03-5363-6013**  
メール返信 **mizushina@naturegame.or.jp**

プレゼントの締め切り日を過ぎても、アンケートの返信は受け付けています。

募集中

## 読者のひろば

このコーナーでは読者の皆さまの声をお届けします。携帯メールからでもOK。写真付きも受け付けています。気軽に投稿してください。mizushina@naturegame.or.jp

✉ 春待つ花

From すー

先日、梅の花を見かけました。私は白い梅の花が大好きなのですが、妻はピンクの梅の花の方が好きだそう。花や小鳥が季節の変化に気づかせてくれます。  
(東京都)



**津**山でも何年かぶりの大雪が降りました。雪合戦もひとしきりした後、体育の授業でサッカーをしました。白く輝く雪の上でした子どもたちとのサッカーは一段と楽しく感じました。  
(ジャイアン/岡山県)

**冬**は鳥も餌をめぐって競争が激しくなります。先日もナンテンの実の下で二匹のヒヨドリが激しい争いをしていました。争いといっても、一匹がうずくまりもう一匹が頭の上を激しくつついていました。うずくまっていたヒヨドリを助けてみると頭の毛が抜けて赤く腫れ上がっていました。鳥取の雪、早く治まってほしいものです。  
(Bird/鳥取県)



### 体験カードがいっぱいになった方からのお便り

子どもたちは毎回とても楽しみにネイチャーゲームの日を待ち、行ってくると本当に楽しかった！と喜んでいきます。これからも、多くの子どもたちがこんな体験ができるようお力をかけていただけたらと思います。  
(なぎさ/静岡県)



ネイチャーゲーム25周年記念

募集中!

2011年

6月17日(金)~19日(日)

第21回

# 全国ネイチャーゲーム研究大会 IN あいち 2011

## おいでん! 三河の山里へ



山を愛する  
地元の  
みなさんによる  
ワークショップ



ジョセフ・コーネル氏  
基調講演&ワークショップ



生きものがお出迎え!



地元の茅葺屋敷



ぶらぶら歩きで見つかるものは



子どもの声が聞こえそうな廃校

### 大会概要

テーマ: シェアリングネイチャー 伝えよう豊かな暮らしぶり

日程: 平成23年6月17日(金) 15:30 ~ 6月19日(日) 13:30 2泊3日

会場: 愛知県野外教育センター 〒444-3432 愛知県岡崎市千方町町字大平田17-5 Tel: 0564-83-2221

主催: 社団法人日本ネイチャーゲーム協会・愛知県ネイチャーゲーム協会

後援: 愛知県 (以下申請予定 文部科学省・環境省・国土交通省・林野庁・岡崎市)

定員: 150名(先着順) / 参加費: 会員36,000円 / 単位: リーダー研修2単位(全日参加)

問合せの方に詳しい参加要項をお送りします。最新情報は日本協会HP専用ページをご覧ください。

<http://www.naturegame.or.jp/square/topics/000021.html>

### アクセス

○公共交通

名古屋駅(名鉄本線)→本宿駅集合バス送迎

(22km約40分)

○自家用車利用

東名高速道路(岡崎IC)→

国道1号線沢渡左折→月秋~宮崎~センター(28km)

東海環状自動車道(松平IC)→九久平~根崎~水分(26km)

### スケジュール (予定 状況によりプログラムを変更することがあります)

●6/17(金)

15:00 受付開始  
15:30 開会式  
16:30 基調講演 コーネル氏  
18:00 オリエンテーション  
ワークショップ説明会  
19:00 地元文化の紹介(太鼓他)  
ウェルカムパーティー  
21:00 入浴・フリープログラム

●6/18(土)

8:00 朝食  
9:00 コーネル氏ワークショップ  
(昼食)  
13:00 愛知県ワークショップ 5グループ  
写真・間伐体験・和菓子作り・クラフト・語り  
(夕食)  
19:00 事例研究発表会  
21:00 入浴・フリープログラム

●6/19(日)

7:00 朝食  
8:00 清掃、荷物整理、宿泊室明け渡し  
9:00 ぶらぶら歩き(周辺)→廃校移動  
10:30 コーネルさんと語る集い  
11:30 閉会式  
12:00 五平餅作りと間伐材ミニコメント  
~13:30

3月22日(火)午前10時より申込受付を開始します。【お名前・会員番号・メールアドレス・日中連絡のつく連絡先】をお知らせください。

社団法人日本ネイチャーゲーム協会

TEL 03-5363-6010 FAX 03-5363-6013 〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-13-17

kenyutakai@naturegame.or.jp

ワークスナカノ 2F

URL <http://www.naturegame.or.jp/>

